

地方CR活動

長野県協会

福祉巡回車・車いすを寄贈しました

長野県協会（会長：山本裕信 住友生命松本支社長）は、会員会社の職員・代理店など約3,400名からの善意で集まった募金により、県内の2社会福祉協議会へ福祉巡回車を各1台、5社会福祉協議会に車いすを合計8台寄贈しました。

10月7日に長野市内で寄贈式を行い、山本会長から飯島町社会福祉協議会と長和町社会福祉協議会へ福祉巡回車の目録を、金子副会長から御代田町、千曲市、松本市、辰野町(および高森町)の各社会福祉協議会へ車いすの目録を手交しました。各社会福祉協議会からは「地域住民の要望を聞くために直接出向いているが、山間部で車両も限界だったので助かります」「誰もが安心して暮らせるまちづくりをしています。介護用の車いすは需要が高く、必要としている方への貸出に利用したい」と謝辞をいただきました。福祉巡回車は1991年から累計66台、車いすは2012年から累計198台を寄贈しており、毎年大変感謝をいただいています。

長野県協会は引き続き地域社会への貢献活動に取り組んでいきます。

